

シリーズ

関西大学堺キャンパス市民講座

笑いの総合科学(第Ⅱ期)～「笑いのサイエンス」～

笑いは心身の健康のシンボル、ユーモアは人類文化の精華です。関西大学ではこのような視点から、第Ⅰ期「笑い」と文化」、第Ⅱ期「笑いのサイエンス」、第Ⅲ期「笑いを作る、笑いを測る」の三期からなる講座を開催いたします。目からウロコの笑い学講座。一緒に、笑いながら、笑いについてまじめに考えましょう。

第 1 回 10 月 10 日(月) 14:00～15:30

感情としての笑いとユーモア

関西大学社会学部教授 雨宮 俊彦



人はなぜ笑うのか、笑いはストレスをどう緩和するのか、笑いは社会関係にどんな影響を与えるのか、嘲笑は悪い笑いか、ユーモアセンスは人によってどう違うのか、などといった笑いとうーモアに関する疑問について、笑いを感情としてとらえる観点から解説する。

第 2 回 10 月 16 日(日) 14:00～15:30

社会脳からみた笑い

京都大学特任教授・名誉教授 苅阪 直行



笑いというポジティブな感情には、愉快さから発する笑いとは社会的な微笑みがあり、その発生の起源は異なるが、社会的な現象である点で共通である。このような笑いの特徴を、社会脳(社会と関わる脳)という新しい学問の分野から脳の報酬系などどう関わるかを考える。

第 3 回 10 月 30 日(日) 14:00～15:30

笑いの人類学 ～笑いの起源と進化～

関西大学人間健康学部助教 松阪 崇久



笑うのは人間だけだとかかつては考えられていたが、人間にもっとも近い動物であるチンパンジーも、くすぐりや追いかけっこなどの遊びの際に笑い声を発する。チンパンジーと人間の笑いを比較しながら、人間の笑いがどのように進化してきたのかを考える。

第 4 回 11 月 23 日(水) 14:00～15:30

笑いの脳科学最前線

目白大学講師 野澤 孝司



笑う動物としての人間は、頭の中でおかしさやおもしろさの情報をどのように処理するのか? 講義ではくすぐりやユーモア、ジョークなど「笑い」に関連する最新の脳・画像(イメージング)研究を紹介し、笑う人間の脳の機能とメカニズムを説明する。

第 5 回 11 月 27 日(日) 14:00～15:30

笑い与健康

関西大学人間健康学部助教 広崎 真弓



笑いは健康に良いと注目されつつある。笑い与健康がどうして結びつくようになったのかについて、これまでの国内外の研究を紹介し、笑いの効果について具体的にお話します。途中、新しい健康法として広まりつつある「笑いヨガ」の体験も行う予定である。

■ 受講時の注意事項 ■

- ① 「シリーズ・笑いの総合科学」は第Ⅰ期～第Ⅲ期までを予定しております
- ② 「シリーズ・笑いの総合科学」では、第Ⅰ期～第Ⅲ期のすべての講座を通して『笑いを科学する』(新曜社)をテキストとして使用いたします
- ③ テキストは各期の第 1 回目の講座にて教室で販売いたします(※定価 2,940 円を 2,500 円にて販売)

場 所 : 関西大学堺キャンパス

南海電鉄高野線「浅香山」駅下車 徒歩 1 分
(自動車・バイクによる入構はできません。)

対 象 : 堺市民、関西大学学生、教職員、その他

参加費 : 無 料

※ 申込方法は裏面をご参照ください。

お問合せ: 関西大学堺キャンパスグループ
〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1
072-229-5022(代表)
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/



■ 講師プロフィール ■

<p>第1回 雨宮 俊彦 (あめみや としひこ) 関西大学で心理学概論を担当し、感情心理学を主に研究。笑いの解明には、感情心理学に位置づけるアプローチが必要だというのが持論。著書に『ユーモア心理学ハンドブック』(監訳)や『笑いとうもあ心理学』(近刊)など。</p>	<p>第2回 荳阪 直行 (おさか なおゆき) 京都大学文学部教授を経て現職。京都大学副学長補佐、日本学術会議近畿地区代表幹事を兼任。専攻は実験心理学・社会脳科学。日本ワーキングメモリー会長。著書に『笑い脳—社会脳からのアプローチ』(岩波書店)など。</p>
<p>第3回 松阪 崇久 (まつさか たかひさ) 京都大学で博士号(理学)取得後、(財)日本モンキーセンター、京都大学霊長類研究所などを経て現職。主な共著書に『Chimpanzee Behavior in the Wild』(Springer-Japan)、共訳書に『ユーモア心理学ハンドブック』(北大路書房)など。</p>	<p>第4回 野澤 孝司 (のざわ たかし) 筑波大学大学院人間総合科学研究科において感性認知脳科学分野・行動神経科学を専攻。産業技術総合研究所において神経イメージング研究に従事。日本笑い学会、国際ユーモア学会(ISHS)会員。共著書に『笑いを科学する』(新曜社)など。</p>
<p>第5回 広崎 真弓 (ひろさき まゆみ) 京都大学大学院医学研究科にて笑いの研究を行い、現職に至る。専攻は健康科学・フィールド医学。笑いヨガリーダーの資格取得。共著書に、『笑いを科学する』(新曜社)、『現代人にとって健康とはなにか』(書肆クラルテ)など。</p>	

(申込方法)

FAX またはハガキにて、①郵便番号・住所 ②お名前・ふりがな ③電話番号 ④希望される講座の開催日をご記入の上、締切日必着でお送りください。講座は1つからでもお申込み頂けます。また、複数の講座を一括でお申し込み頂いても結構です。講座開催の3日前までに聴講券を送付いたしますので、当日会場までご持参ください。なお、当日欠席される場合のご連絡は不要です。

(定員) 150名。応募者多数の場合は、抽選にて決定。当選者・落選者ともに通知いたします。

(宛先) 関西大学堺キャンパス「シリーズ・笑いの総合科学」係

(FAX) 072-229-5082

(住所) 〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1

FAX 送信用紙

関西大学堺キャンパス シリーズ・笑いの総合科学 (第Ⅱ期)

072-229-5082

住所 〒	—
ふりがな 氏名	電話番号 — —

参加	開催日	テーマ・講師	申込締切
	10月10日(月)	感情としての笑いとうもあ (雨宮 俊彦)	9月23日(金)
	10月16日(日)	社会脳からみた笑い (荳阪 直行)	9月30日(金)
	10月30日(日)	笑いの人類学～笑いの起源と進化～ (松阪 崇久)	10月14日(金)
	11月23日(水)	笑いの脳科学最前線 (野澤 孝司)	11月11日(金)
	11月27日(日)	笑いとうもあ (広崎 真弓)	

※ 受講を希望される日の「参加」欄に○をご記入ください